

海外の事例から学ぶ都市政策

～都市の風格とアイデンティティはどのようにつくるのか～

人口が減少する中、その街に住む人が愛着心を持ち、外の人からも関心を持ってもらうには、魅力的な都市づくりが必要です。海外では、それぞれの歴史・文化の保存、自然の再生等により、その地域の風格とアイデンティティを高めていくことで、存在感のあるまちとなっている事例が多く見られます。この研修では、海外事例の考え方や方策を参考に、公共空間の活用や住民とまちとの関わり方なども含め、新たな切り口から中長期的な視点で考えます。

研修の ねらい

- 都市への愛着や居心地の良さについて学ぶ
- 海外のまちづくり（都市政策）の事例を学ぶ
- 事例から学んだことを自分の自治体の施策にどう活かせるか検討する

開催要領

日 程

令和3年10月20日(水)～10月22日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

まちづくり、都市計画、コミュニティ振興等の業務に携わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年9月6日(月)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

10月
20日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 都市の魅力アップ

大阪大学名誉教授 鳴海 邦硯 氏

魅力のある都市について、その特徴とまちづくりの基本的な考え方についてご講義いただきます。

15:50~17:00

事例紹介① コペンハーゲンのパブリックスペースを活用したまちづくり

デンマーク在住ジャーナリスト ニールセン 北村 朋子 氏

デンマークの都市コペンハーゲンは、世界最高峰のパブリックスペースを有する都市として知られています。パブリックスペースの創出や市民への開放を通じた都市再生の事例について現地からオンラインでご講義いただきます。

17:30~

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:50

講義 愛着を持てる居場所をつくる「プレイスメイキング」

有限会社ハートビートプラン 取締役 園田 聡 氏

単なる「SPACE(スペース)」ではなく、人々の居場所である「PLACE(プレイス)」をいかに作っていくか、そのプロセス・デザインについてご講義いただきます。

11:00~12:10

事例紹介② ライプツィヒに学ぶ空き家と空き地のつかいかた

まちづくり活動家・博士/尾道「迷宮堂」共同創設者・ライプツィヒ「日本の家」共同創設者

大谷 悠 氏

東西ドイツの統一後、ドイツの都市ライプツィヒでは多くの空き家が生まれました。市が対策として空き家の取り壊しを行なって暫定緑地を整備する一方、NPO団体が空き家を新たな芸術・文化活動に仲介し、クリエイティブな空間として再生させてきました。現地で「日本の家」を立ち上げ、実際に空き家を使って活動した大谷氏の活動内容を中心に、空き家・空き地を活用した地域の再生について、現在の尾道での活動内容も交えながらご講義いただきます。

13:10~14:20

講義 海外の事例から学ぶ都市政策

龍谷大学政策学部 教授 服部 圭郎 氏

コンパクトシティ、パブリックスペースの活用など、新たな切り口から、都市の風格とアイデンティティはどのように作っていくのか、海外事例をもとにまちづくりのあり方について考えます。

14:35~17:10

演習 海外の事例から学ぶ都市政策

龍谷大学政策学部 教授 服部 圭郎 氏

ここまでの講義や事例紹介をふまえ、各自治体の都市政策にどのように活かすことができるか、個人ワークやグループ討議を行います。

9:25~12:00

演習 海外の事例から学ぶ都市政策

龍谷大学政策学部 教授 服部 圭郎 氏

グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より講評等をいただき、まちづくりについてさらに考えを深めます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和3年

10月
21日(木)

令和3年

10月
22日(金)

講師紹介

龍谷大学政策学部 教授 服部 圭郎 氏

東京大学工学部卒業、カリフォルニア大学環境デザイン学部で修士号取得。民間シンクタンク勤務、明治学院大学経済学部教授を経て、現職。専門は都市計画、地域研究、コミュニティ・デザイン、フィールドスタディ。主な著書に『若者のためのまちづくり』『人間都市クリチバ』『衰退を克服したアメリカ中小都市のまちづくり』『ドイツ・縮小時代の都市デザイン』など。技術士(都市・地方計画)、博士(総合政策学)。JIAM海外研修 平成30年度「人口減少時代における自治体政策～働き方・福祉を中心に～(オランダ・ドイツ)」、令和元年度「持続可能なまちづくり(ドイツ・スイス)」指導講師。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。